

令和2年度 静岡県人権教育の手引き

想像しよう 共感しよう

— 実践学習編 気付きから行動へ —



静岡県教育委員会



本書の内容

第1章 静岡県教育委員会の人権教育

1	静岡県教育委員会の人権教育の基本構想	1
2	静岡県教育委員会が目指す基本的な方向	2
3	これまでの人権教育研究指定校の取組について	3
4	平成30・令和元年度人権教育研究指定校の実践 掛川市立曾我小学校	4
5	人権教育の年間指導計画の充実について	5
	年間指導計画の作成例（掛川市立曾我小学校）	6

第2章 参加体験型学習

1	参加体験型学習	7
2	アイスブレイク	7
3	参加体験型学習例	
	学習例1 決めるのはだれ?（寄り添う言葉）	8
	学習例2 あなたはどう思いますか?（子どもの人権）	10
	学習例3 しつけ?虐待?（子どもの人権）	12
	学習例4 高齢者の人権について考えよう（高齢者の人権）	14
	学習例5 心のバリアフリー（障害者の人権）	16
	学習例6 みんなにやさしい日本語を使ってみよう（外国人の人権）	18
	学習例7 インターネットのルールを考える（インターネット）	20
	学習例8 からだの性とこころの性（性の多様性）	22
	学習例9 ハンセン病問題を正しく伝えるために（ハンセン病）	24
	学習例10 セクシュアルハラスメントとは（ハラスメント）	26

第3章 資料編

1	人権教育をめぐる近年のトピック	28
2	見直しましょう、あなたの人権感覚	31
3	関係機関及び相談機関の紹介	32
4	人権教育に関するDVD・書籍等の活用	33

—本書の活用に当たって—

静岡県教育委員会では、人権教育の手引き（人権教育指導資料）を毎年計画的に作成しています。これは単年度だけの使用を目的としたものではありません。様々な人権課題に対する理解と認識を深め、具体的な人権教育の推進に役立てていただくために、是非、既存の手引きと併せて活用してください。

本書掲載の図版・資料の利用については、授業等で児童生徒、教職員及び保護者向けに印刷・配付することを想定しています。その際、必ず出典を明記の上、お使いください。上記以外の目的で使用する場合は、新聞社、各種団体、著作者等の許可が必要になります。

第2章のワークシートは、教育政策課人権教育推進室ウェブサイト（P33の奥付参照）にも掲載していますので、ダウンロードしてお使いいただくことができます。

第1章 静岡県教育委員会の人権教育

1 静岡県教育委員会の人権教育の基本構想

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
人権教育・啓発に関する基本計画
人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕
持続可能な開発目標（SDGs）人や国の不平等をなくそう
静岡県人権施策推進計画（ふじのくに人権文化推進プラン）
静岡県教育振興基本計画 共生社会を支える人権文化の推進



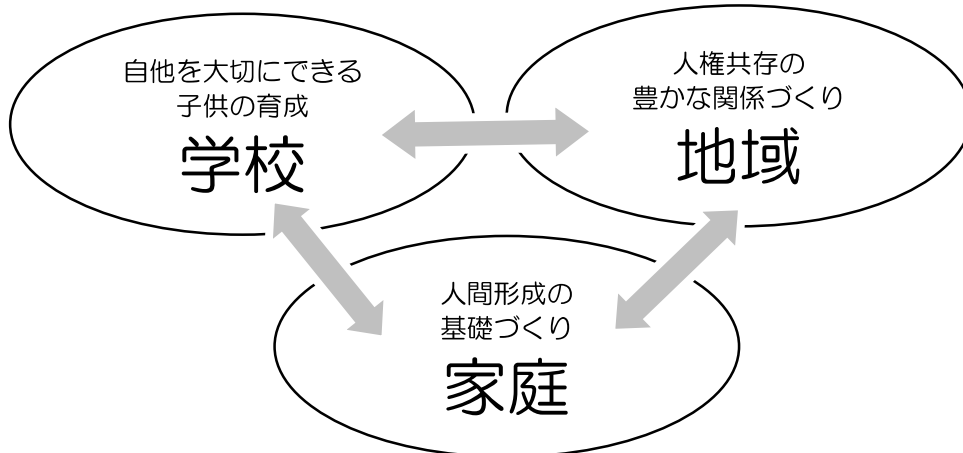
目標

自他の人権を大切にできる態度や行動力の育成

人権一般の普遍的な視点と具体的な人権課題に即した個別的な視点に基づき、人権に対する正しい理解を深め、人権感覚と自己肯定感を高める。

自主性を尊重した効果的な手法による人権教育の推進
関係機関との連携による発達段階に応じた多様な教育

関係機関との連携



地域との連携

人権教育の指導的立場にある人の人権感覚の育成



県民一人一人に人権尊重の意識が育まれた温もりあふれる静岡県の実現

2 静岡県教育委員会が目指す基本的な方向

(1) 人権教育

人権教育は、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」において、「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」と定義され、その基本理念は、「国民が、その発達段階に応じ、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう」に推進することと定められています。学校における人権教育の目標は、「人権教育の指導方法等の在り方について（第三次とりまとめ）」において、「児童生徒が、発達段階に応じ、人権の意義・内容等について理解するとともに、『自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること』ができるようになり、それが、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにすること」とされています。

(2) 人権教育の基本的な考え方

静岡県では、静岡県人権施策推進計画「ふじのくに人権文化推進プラン」及び「静岡県教育振興基本計画」に基づき、「自他の人権を大切にする態度や行動力の育成」を目標に、人権教育の充実を目指しています。人権教育の取組は、人権一般の普遍的な視点と、具体的な人権課題に即した個別的な視点とに基づき、人権に対する正しい理解を深め、人権感覚と自己肯定感を高めることが重要です。

(3) 学校における人権教育の推進

ア 教育活動全体を通じた計画的・組織的な人権教育の推進

人権教育は、教科等の指導、日常的な指導、学年・学級経営など、学校の教育活動全体を通じて計画的に推進することが大切です。各学校においては、人権教育推進担当等を中心にして、人権教育の全体計画及び年間指導計画などを作成し、指導の徹底を図るとともに、その実施内容について評価し、改善することが必要です。

イ 教育環境の整備

人権尊重の環境づくりは、学校全体の雰囲気そのものに関わるものです。こうした雰囲気は、教職員の日常的な言動や教職員と児童生徒・児童生徒同士の間関係の在り方等によってつくられるものです。校内において、人権尊重の雰囲気を積極的に醸成するために、人権をテーマとした様々な取組の工夫を行うことが大切です。

(4) 普遍的な視点からの取組

普遍的な視点からの取組とは、人権に関わる普遍的な概念を念頭に置き、人権尊重の理念について指導することです。例えば、人権の意義・内容、法の下での平等、個人の尊重、自己理解と他者理解、自己肯定感等が考えられます。学校として重点を決め、全体計画に位置付け、具体的な内容を年間指導計画に反映させることが大切です。

(5) 個別的な視点からの取組

様々な個別的な人権課題のうち、法務省は17項目の啓発活動強調事項を掲げています（P33）。学校教育においては、様々な人権課題の中から、児童生徒の発達段階等に配慮しつつ、それぞれの学校の実情に応じて、児童生徒が主体的に学習できる課題を選び、効果的に学習を進めていくことが求められます。

3 これまでの人権教育研究指定校の取組について

静岡県教育委員会では、児童生徒及び教職員の自他の人権を尊重する態度や行動力を高めるための研究を行うとともに、その具現化を図り、成果を広く県内の学校に普及するため、昭和55年度より、人権教育研究校を指定しています。

文部科学省「人権教育指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」に示された人権教育のそれぞれの推進の柱に沿って取組を進めています。

【学校としての組織的な取組と関係機関等との連携等】

- 1 人権尊重の精神に立つ学校づくりについて
- 2 全体計画及び年間指導計画の研究
 - (1)全体計画
 - (2)年間指導計画
- 3 学校としての取組の点検・評価
- 4 家庭・地域、関係機関との連携及び校種間の連携
 - (1)家庭・地域との連携の取組について
 - (2)関係機関との連携の取組について
 - (3)校種間の連携の取組



文部科学省 HP

【人権教育の指導内容と指導方法】

- 1 指導内容の構成
 - (1)人権に関する知的理解に関わる指導内容
 - (2)人権感覚の育成に関わる指導内容
- 2 効果的な学習教材の選定・開発
- 3 指導方法の在り方
 - (1)児童生徒の自主性を尊重した指導方法の工夫（「協力的」「参加的」な学習の取組）
 - (2)「体験」を取り入れた指導方法の工夫
 - (3)児童生徒の発達段階を踏まえた指導方法の工夫

【学校における研修等の取組】

- 1 総合的かつ計画的な施策の推進と推進体制の整備
- 2 各学校の成果に関する情報発信
- 3 効果的な研修プログラム



人権教育研究指定校の成果



【教職員の声】



- ・子供たち同士が関わり合える場を意識して設定するようになった。
- ・学校全体に人権尊重の空気が生まれ、温もりのある空間づくりに繋がった。

【児童生徒の声】

- ・友達の良いところに目を向けるようになった。
- ・人権について理解できた。
- ・自信を持って発表するようになった。



【学校の声】



- ・さまざまな学校の実践を参考に、学校全体を「人権」という視点から見直すことができた。
- ・学校経営目標の柱として据えた。

【保護者・地域の方の声】

- ・高校生が、道に迷っていた福祉施設に入所する80代の方を1時間ほど歩いて案内してくれた。
- ・挨拶が素晴らしい。



4 平成30・令和元年度人権教育研究指定校の実践

掛川市立曾我小学校

●研究テーマ 「みんなが笑顔で かがやく学校 ～自分の大切さ 友達の大切さを 実感する子の育成～」

●全校で取り組んだ人権教育の実践例

つくり部の取組・・・心・体つくり部、学びつくり部

つくり部を支える土台としての取組・・・人権意識を高めるための取組

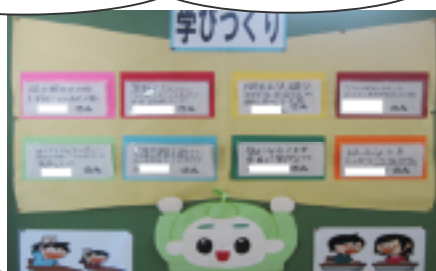
●主な取組

思いやりの心

自己肯定感

自律の心

自分、友達のよさを認め
大切にしようとする心



心・体つくり部

- よさ・がんばりを認める
かがやきタイム、「かがやき」の掲示
（「いいところ見つけ」の取組）
- 豊かな人間関係づくり
人間関係づくりプログラムの活用
- 自律の心を育てる生活指導
だ・い・じ あいさつ（誰でも いつでも 自分から）
だ・い・じ そうじ（黙って 一生懸命 時間いっぱい）
曾我っ子アンケートと個人面談（年3回）

学びつくり部

- 解決したくなる課題の工夫
教材の工夫、単元構想の工夫、学習問題の工夫
- 板書のユニバーサルデザイン化
色の使い方、伝え合いのマーク（◎◎：グループでの伝え合いと全体での伝え合い）の活用、分かりやすい言葉
- 話す・聞くレベルアップ
話形の掲示、伝え合い名人の称揚・掲示
- 教師の仕掛け
ゆさぶる発問・切り返しの発問

人権意識を高めるための取組

- 教職員の人権意識を高める
人権チェック、人権目標と振り返り
人権教育年間指導計画の作成
- 豊かな心を育む道徳教育
全校道徳、道徳コーナーの設置、振り返りの充実
実践を積み重ね個の変容を見取る
- 家庭・地域との連携
学校だより・学年だより、地域の教育力を生かす
道徳の授業参観、キャリアノートの活用
- 児童の人権意識を高める
参加体験型人権学習、人権擁護委員による人権教室
人権ポスターへの取組
- 一人一人を大切に特別支援教育
個別の教育支援計画の作成
校内支援体制
（特別支援委員会、生徒指導委員会、ケース会議）

●児童の変容

- ・友達のよいところに目を向けようとする子が増えた。
- ・挨拶や掃除など、生活の基本となる活動の実践力が向上した。子供自身もこのことを実感できている。
- ・自己理解や他者理解が進み、良好な人間関係を築くことにつながった。
- ・多くの子供が「発表できるようになった」「考える力が付いた」という実感を得ることができた。

●取組の成果

- ・授業で身に付けた伝え合う姿が、他の場面でも見られるようになった。
 - ・職員の子供を見る見方が広がり、子供や学校全体の雰囲気明るくなった。
- 学校評価アンケートによると、「だ・い・じあいさつを心がけている。」「相手を思いやるやさしい言葉遣いをしている。」「『伝え合い名人』を目指して授業に取り組んでいる。」の各項目について、職員の数値が上がるとともに、子供の数値との大きな隔たりが少なくなっている。



5 人権教育の年間指導計画の充実について

年間指導計画は、学校教育目標及び人権教育全体計画に基づき、学校や地域の実態及び子供の発達段階を踏まえ、育てたい資質・能力を見据えて作成します。指導内容・方法等について関連性や系統性を考慮することが大切です。学習指導要領において人権に関する直接的な学習内容が示されている教科等はその内容を反映させ、それ以外の教科等は人権教育の趣旨に沿った内容等を連携させます。また、児童・生徒の主体的な学習を図るため、参加体験型学習例等の活用を位置付けることで、より体系的・系統的な推進が可能になります。

年間指導計画 高等学校（例）

☆関連する「人権教育の手引き」、（ ）内は対象者

月	第1学年	第2学年	第3学年
4	【仲間づくり】お互いに認め合い、支え合う集団づくりを目指す。 ☆アイスブレイク		
5	【子供の人権】 児童の権利条約等を通して人権について理解する。 ☆R02 学習例 1（教職員・保護者） ☆R02 学習例 3（保護者） ☆H30 学習例 4（生徒）	☆R02 学習例 3（保護者） ☆H31 学習例 1（生徒）	
6	【拉致問題】 重大な人権侵害であることを理解する。 ☆R01 学習例 6（生徒）	 【同和問題と就職試験の公正選考】 「解放令」以後の社会と同対審答申や部落差別解消推進法等について理解する。就職選考等での人権侵害をなくす取組みを理解し、問題解決のための実践的行動力を育成する。 ☆R02 資料編（生徒） ☆H31 学習例 3（教職員）	
7	【障害者の人権】 障害者についての理解と合理的配慮に関する認識を深め、共に生きる社会を実現しようとする実践的行動力を身に付ける。 ☆R02 学習例 5（生徒） ☆H31 学習例 2（生徒）		
9	【性の多様性と人権】 性の多様性を知り、互いを認め合う。 ☆R02 学習例 8（教職員・保護者）	【医療をめぐる人権】 ハンセン病等について正しく学ぶとともに、解決に向けた実践的行動力を身に付ける。 ☆R02 学習例 9（教職員）	【女性の人権問題】 男女共同参画社会の実現に向けた実践的行動力を身に付ける。 ☆R02 学習例 10（教職員）
10	人権講演会		
11	【インターネット上での人権問題】 うわさや誹謗中傷の拡散の現状や著作権等について理解を深め、他者の権利を侵害しない態度を養う。 ☆R02 学習例 7（生徒） ☆H31 学習例 5（生徒）		
12	【外国人の人権】 在住外国人に対する差別や偏見をなくし、多様な民族や国籍の人々がともに生きる社会の実現に向けて実践的行動力を身に付ける。 ☆R02 学習例 6（生徒）		
1 2 3	【同和問題（部落差別）】 中世から江戸時代における被差別部落の歴史や社会背景を正しく理解する。日本の様々な伝統文化の成り立ちや時代背景について理解する。	【高齢者の人権】 高齢者の人権を尊重するとともに、高齢者が各種の社会的な活動に参加できる社会の実現を目指す態度を身に付ける。 ☆R02 学習例 4（生徒）	【振り返り】 人権について学んだことを、日常の行動にどうつなげていくかについて考え、自他の人権を尊重する態度や行動力を育成する。 ☆R02（教職員）

年間指導計画の作成例（掛川市立曾我小学校）

第1学年	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年目標	自分の力を精一杯発揮し、仲良く助け合う集団を作る										
各教科	<p>(国語) さあ、はじめよう 相手や場面に応じて適切な言葉遣いで話すことができる。 友達に知って欲しいことを考え伝えることができる。</p> <p>(生活) わくわくどきどきしょうがっこう 友達と一緒に遊んだり、活動したりする楽しさを味わうとともに、仲良くするためのマナーやルールがあることに気付く。</p>	<p>(生活) わくわくどきどきしょうがっこう 学校内を探検し、校内にいる人々に会い、出会った人に挨拶をしたり話を聞いたりすることができる。</p> <p>(体育) リレー遊び 運動の順番やきまりを守ったり、友達と仲良く練習し、競走する。</p>	<p>(国語) おもいだしてはなそう たからものをおしえよう 自分の経験を思い出し、順序立てて伝えることができる。 友達の話を興味を持って聞くことができる。</p> <p>(生活) なつとももだちになろう 生き物の様子を観察し、生き物が大切にならなければならない。</p>	<p>(国語) すきなこと、なあに 書いたものを読み合い感想を伝え合うことができる。</p> <p>(生活) なかよくなるうね 小さなともだち自分自身で世話の仕方を調べたり世話をしたりして、その生態や成長変化に気付くとともに、生き物も自分たちと同じように生命をもっていることや生き物の命を大切に感じ、親しみを持って世話をすることができるようにする。</p>	<p>(国語) ゆうやけ 文章の内容と自分の経験を結びつけ自分の思いや考えを発表することができる。</p> <p>(生活) なかよくなるうね 小さなともだち自分自身で世話の仕方を調べたり世話をしたりして、その生態や成長変化に気付くとともに、生き物も自分たちと同じように生命をもっていることや生き物の命を大切に感じ、親しみを持って世話をすることができるようにする。</p>	<p>(国語) くじらぐも 登場人物の気持ちを想像しながら音読をする。 想像を広げながら友達と協力して物語の様子を音読で表すことができる。</p> <p>(生活) かぞくにごにこ大きくせん 家族のことや自分のできることを考え、自分の役割を積極的に果たす意欲をもつことができるようにする。</p> <p>※保護者ボランティア</p>	<p>(国語) しらせたいな、見せたいな 自分が見つけた生き物や物について相手に伝えるように書くことができる。 友達の作文を読み作文の良さや感想を伝えることができる。</p> <p>(生活) あきとももだちになろう 自然物などからいろいろな物を作ったり遊んだりしながら、その楽しさを伝え合ったり学校の人などと適切に関わったりすることができるようにする。</p>	<p>(国語) ともだちに、きいてみよう 発表内容を組み立て、丁寧な言葉遣いで発表し合う。 友達が今楽しいと思うことを取材して、分かったことを学級の友達にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>(生活) たのしみだね冬休み 日本の伝統的な習慣や行事について知り、年末年始を家族とともに楽しく過ごすためにできることを考えることができるようにする。</p>	<p>(生活) ふゆとももだちになろう 昔の遊びを通して、地域のお年寄りや交流を深めたり昔の人々の生活の知恵に気付いたりすることができるようにする。</p> <p>※西中校区ボランティア</p> <p>(体育) ボールけりゲーム 友達の良さに目を向け、仲良くゲームしようとする。</p>	<p>(国語) ふたりでかんがえよう 友達と協力して合意形成を図り、問題を作ったり答えを導いたりすることができる。</p> <p>(生活) もろすぐ2年生 自分の成長を支えてくれた身近な人への感謝の気持ちを持つことができるようにする。 たかさんの人にお世話になり成長してきたことに気づき、自分なりに表現し伝える。新1年生のために何ができるか考える。</p>	<p>(国語) いいこといっぱい、1年生 1年を振り返り、思い出や自分の成長を感じる。 友達と交流し合う。</p>
	(生活) きれいにさいてね わたしのはな ○植物の観察や世話をし、大切に育てようという思いをもつ。(あさがお さつまいも チューリップ)										
道徳科	親切、思いやり B		希望と勇気、努力と強い意志 A				善悪の判断、自律、自由と責任 A			個性の伸長 A 感謝 B	
	はやとのゴール 相手のことを考えて、優しく接することの大切さがわかり、相手のことを考えて親切な行為をしていると態度を養う。		一つずつやってみよう なりたい自分について考えるを通して、自分がやらなければならないことにしっかりと取り組もうとする態度を育てる。				うんどうぐつ 正しいことを伝えるために間違っていると感じることを見過ごさず、良いと思うことを進んで行う心情を育てる。			だいすきだから 自分の良さを進んで伸ばそうとする心情を育てる。 はちさんのバッジ お世話になっている身近な人々に感謝の気持ちをもつ。	
外国語活動	外国の文化について、興味を持ち、外国語を使ってコミュニケーションをする。										
特別活動	学級開き 学級目標を決めよう 「1年生のわたし」キャリアノート ★出会い「クラスのメンバーを知ろう」	運動会を盛り上げよう ちくちく言葉 ほかほか言葉 保健指導 「だいじなからだ プライベートゾーン」	学級の挑戦を決めよう 人権教室 ★聴き方「だるまさんが○○をしよう」	もうすぐ夏休み 	学級の挑戦をふりかえろう	係を決めよう 「じぶんのしていることをかこう」 キャリアノート	バランスのよい食生活をしよう（給食） 学級の目標を決めよう ★自己表現「くまとあなくら遊びをしよう」	学級のかがやきをふりかえろう もうすぐ冬休み ☆人権教育の手引き「誰かな」	★自分の気持ちへの対処法「どんな気持ちかな」	6送会を成功させよう お世話になった人に感謝しよう 新1年生いらっしやい 「1年生でのがんばりをふりかえろう」 キャリアノート	ありがとうを伝えよう 自分の成長、クラスの成長を認め合おう 
	自分のよさを見つけると共に、友達との関わり方を学び、友達のよさを見つけられることができるようにする。										
その他	1年生を迎える会		運動会 あいさつでつながろう週間		夏の自慢展	いじめ追放宣言			あいさつでつながろう週間	かがやき参観会 思ったこと考えたことを相手に分かるように伝える。 6年生を送る会	
	だ・い・じあいさつ だ・い・じそうじ										
※人材活用	★人間関係づくりプログラム ☆参加体験型学習										

第2章 参加体験型学習

1 参加体験型学習

(1) 参加体験型学習について

- ア 学習者が、実際に活動に参加したり、自分なりの言葉で語り合ったりする中から生まれる、気づきや共感を大切にする学習です。テーマを自分のこととして捉え、主体的に考えたり振り返ったりする活動を通して、意欲の喚起が期待できます。
- イ 参加者は、互いの意見を尊重する姿勢を大切にしてください。また、場に出された個人的な経験や考えについては、その場限りとする、様々な事情により意見を出したくないという人を認めることが、共通理解として必要です。
- ウ 進行者は、多様な考え方を大切に、学習者自身の学びを促すとともに、自らも学ぶ姿勢を持ちましょう。温かくリラックスした雰囲気をつくるのが大切です。

(2) 基本的な学習の流れ

流れ	展開と内容	
導入	アイスブレイク (関係づくり)	雰囲気を和らげ、自由に話せる関係づくりをする。 テーマに関する方向付けや下地づくりをする。
展開	アクティビティ (気づきへの きっかけづくり)	結論や答えを出すことを目的にするのではなく、話し合いや活動の過程を大切に、様々な考え方への理解と共感を引き出すきっかけをつくる。
まとめ	気づきの振り返り	活動を通して、どんなことに気づき考えたかを振り返る。
	大切なことの共有	互いの気づきから大切なことを共有する。
	行動への一般化	学んだことを、日常の行動にどうつなげるかについて考える。

2 アイスブレイク

サークル・コレクション [中人数向け] (関係づくり)	<ol style="list-style-type: none">1 広いスペースに円になって並ぶ。2 <拍手リレー> 隣の人の胸の前で手をたたいて「パチン」と音を立てる。自分の前に「パチン」がきたら間髪入れずにさらに隣の人の前で手をたたく。これを全員で一周する。(うまいくと綺麗に連続して聞こえる。)3 <握手ウェーブ> 隣の人と手をつなぎ、順送りに握った手をあげていく。手をあげる高さは統一する(肩の高さなど)。一方向にうまく流れたら、逆方向や途中の方向転換などにも挑戦してみる。
妄想自己紹介 [何人でも] (関係づくり)	<ol style="list-style-type: none">1 「もしも…だったら」という題をいくつか提示し、妄想をはたらかせて回答を紙に書く。(例)「もしも今から一年間有給休暇が取れたら」2 全員が記入できたら、順に発表する。
逆さましりとり [何人でも] (関係づくり)	<ol style="list-style-type: none">1 普通のしりとりとは逆に、その言葉の頭文字で終わる言葉をつなげていく。(例) じんけん → にじ → かに → いか → …2 設定した時間まで、どんどん回す。普通のしりとりと同じように、「食べ物の名前だけ」「地名だけ」「人名だけ」等々の工夫もできる。
共通点さがし [二人~中人数向け] (チームワーク)	<ol style="list-style-type: none">1 5×5マスの表を書いた紙を一人一枚ずつ配る。2 好きな食べ物や飲み物をマスの中に書く。3 隣の人と交換する。4 自分も好きな物に○をつける。 (自分の紙にかいていなくてもよい。)5 紙を戻して、好きな理由を言う。6 ペアを変えて同じことを繰り返す。 